

# 人郷夢

## ストーリー

Vol.5

このコーナーでは、まちづくりなどの活動に取り組んでいる市民の方やグループにお話を伺い、活動内容や活動にかけられる思いをシリーズで紹介していきます。

震災で落ち込んだ活力と笑顔を取り戻すため、滝根町の女性たちがコロッケでまちおこしを進めています。今回お話を伺ったのは、滝根町商工会女性部長の二瓶恵美子さんです。

### 震災の後、模索の日々

滝根町は、種類と数の多さで東洋一の鍾乳石を誇る「あぶくま洞」と、県内一の望遠鏡を備える「星の村天文台」など観光施設が充実しています。春の息吹が感じられる頃には、関東方面から小中学生や高校生、さらには大学生まで、学習旅行として大型バスを連ねて町を訪れていました。しかし、震災をきっかけに、私たちの町では、大型バスどころかマイカーの観光客さえ見かけることはなくなったの

です。廃業を余儀なくされ、商工会女性部を退会せざるをえなくなった部員も出ました。また、「あぶくま太鼓紅組」の事業を始めた矢先でしたが、それも休止しなければならなかったのです。

このようなくやしき、むなしき、やり場のない憤りの中、模索する毎日が続きました。私たちに何かできることはないだろうか、今ここで女性部にしかできないことはないだろうか。

あぶくま太鼓紅組…平成22年4月、田村地方の商工会が主催した婚活イベントで、20年以上途切れていた滝根の和太鼓「あぶくま太鼓」を滝根町商工会女性部が復活させた。女性だけの太鼓グループで再編成、地域芸能継承活動をしている。

### 懐かしいコロッケの味

私たちの町には、これといった「味」がありません。和菓子屋や洋菓子屋もあまりありません。

でも、子どもの頃に食べていた懐かしい味が記憶に残っていました。神保駅前、木村精肉店のコロッケの味です。子どものおこづかいでも買える、おやつ感覚のコロッケー。それはカレー味のコロッケでした。

木村精肉店のコロッケは、町内で何世代にもわたって親しまれていました。だから、「コロッケはカレー味」と信じ込み、ジャガイモ味のコロッケをスーパードなどで初めて知った人も多かったのです。



滝根町商工会女性部長の二瓶恵美子さん (滝根町神保)

### 「きむコロ」復活に奮闘

そのことを町外から嫁いできた部員に指摘された時、「これだ！」とひらめきました。あの懐かしいコロッケを私たちの手で作り、地域のみんなに笑顔と元気を取り戻してあげよう。にぎわっていた頃の滝根の町並みを思い出してもらおう。

早速、私たちは公民館の調理室に足を運び、コロッケ作りに取り組みました。

しかし、そう簡単にあのコロッケの味を再現することはできませんでした。というのは、木村精肉店の2代目店主

は十数年前に若くして亡くなり、味を継承する人がいなかったからです。

それでも私たちは、子どもの頃に食べた懐かしい味を求めて奮闘しました。ほんのりカレー風味、食感、舌触りの違いを試行錯誤しながら、毎晩コロッケを作り続けること3か月、ついに念願のカレーコロッケができあがったのです。

周りはサクサク、中はトロトロ、そして青ネギがたっぷり入ったカレー味のコロッケ…あの頃に食べた味です。名前は、当時から呼ばれていた愛称「きむコロ（木村精肉店のコロッケ）」としました。早速、町内のイベントで「きむコロ」を振る舞うと、「いや〜、懐かしいない」「うんめ〜ごど」「女性部、このごろ頑張ってるない」と大好評！中でも、ある若者の言葉が胸を打ちました。

「ねえ、おばちゃん、これだよね、この味だよ、滝根のコロッケは！」部員一同、「やって良かった。これからも頑張れる」と確信

### 全国一のコロッケを目指して

昨年11月、全国コロッケフェスティバルが静岡県三島市で行われ、私たち滝根町商工会女性部も参加しました。「きむコロ」はあえて安全・安心の地元食材で作られ、風評被害に立ち向かう気概で臨みましたが、用意した1000個のコロッケは飛ぶように売れ、3時間余りで完売。名も知られていないコロッケが瞬く間に受け入れられて感動しました。負けない田村の元氣、滝根の元氣を全国に発信できたいと思います。

今年の全国コロッケフェスティバルは11月22日、富山県高岡市で開かれます。カレー味だけでなく、市の特産品を使った新しい「きむコロ」も加え、全国一に挑戦します。

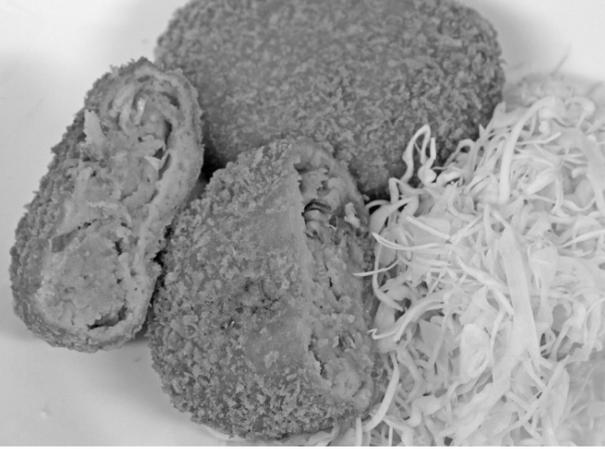
地元の人にとっては当たり前ですが、他の地域の人にとっては当たり前には映らないもの、それも地域の宝ではないでしょうか。そんな地域の宝をみんなで掘り起こし、まちづくりの起爆剤として活用してみませんか？

### 取材を終えて

きむコロ…地域に昔から根づいていたカレーコロッケを、滝根町商工会女性部が平成23年8月20日の「滝根っこ夏まつり」で復活させた。田村市のソウルフードとして、全国のイベントに参加している。

自らを「おせっかいおばちゃん軍団」と称する滝根町商工会女性部の皆さん。「きむコロ」復活のストーリーは、正義感・責任感が強く元気な田村の女性を印象づけています。人は地域に育てられ、人々が地域を作り上げていくのでしょうか。彼女たちは、将来のおばちゃん予備軍でもある現在の若い女性に、「おせっかい精神」を伝授していくため、将来の「おせっかいおばちゃん」養成講座もやってみようと、次世代の人づくりにも情熱を燃やしています。

(協働まはげしぐら課)



▲おいしそうに揚がった「きむコロ」